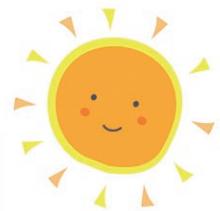




広報～風・菜・樹

ふなき便り



●社会福祉法人 扶老会 障害福祉サービス事業部

そうめん流し



7月11日（土）、ハイツふなき・ヴィラふなき・生活支援センターふなき合同で、夏の恒例行事「そうめん流し」を行いました。台風が近づいているとの予報があり、天候が心配されましたが、暑すぎるくらいの快晴でした。

企画にあたって利用者の皆さんと協力して準備を行いました。前日に竹を切り、節を抜き、研磨機で削って土台を完成させました。そして当日に、屋外では会場のセッティングとしてテントを立てて机を並べ、室内では胡瓜や大葉など薬味を切ったり、おにぎりを作ったりと一丸となって行いました。

そうめん流しという響きは涼しいですが、準備では熱が入りとても暑かったです。しかし、不思議なことに水の音を聞きながら流れてくるそうめんを食べると、暑さを忘れさせてくれました。

そうめんの他にも、デザートにスイカも準備し、皆さんおなか一杯食べられ、「美味しかった」「またしてほしい」等の声も聞くことが出来ました。

片付けも全員で協力して行い、あっという間に終わらせることが出来ました。こういった行事を通して、利用者の皆さんに季節感を味わっていただければと思います。

準備の様子



- 竹を処理したり、おにぎりを作っている様子です。作業分担し、丁寧に進めていきました。

そうめん流し



- 列になって流れてくるそうめんを食べました。箸でつかんで思わず笑顔がこぼれます！

食の彩り



- そうめん以外の薬味やスイカ。そうめんと一緒に食べるといいアクセントになります。スイカは大人気であつという間になくなってしまいました。



ハイツふなき・ヴィラふなき 家族会

ハイツふなき・ヴィラふなき合同で家族会を開催しました。家族会は、事業所の活動報告と情報の共有化を図る場であると共に、利用者さんとそのご家族が交流できる良い機会になります。

そこで今回は、ご家族の皆さんに利用者さんの生活の実際を知っていただこうと、両事業所から利用者さん1名ずつ、生活の様子と思いを発表していただきました。生活訓練で調理や金銭管理等を頑張っている様子や就労継続B型へ参加したり、また余暇を楽しんだりする様子を紹介されました。ご家族の皆さんには、写真付きのスライドを見ながら聴き入っておられました。

次に、両事業所で行っている日中活動プログラムを、利用者さんと一緒にご家族の皆さんにも体験していただきました。内容は「暑中見舞いハガキ作り」です。筆ペンや切り絵、絵の具、スタンプといったさまざまな素材を使ってオリジナルのハガキを作成しました。作成したハガキは、夏季に利用者さんとご家族が交流としてお互いに送りあう予定です。「なかなかこういうものを送ることはないから新鮮ね」との声が聞かれました。

今回の家族会は利用者さんとご家族の皆さんとの交流を重視して企画しました。今後も実りのある家族会になるよう努めて参ります。



● 利用者さんに日々の活動を報告していただきました。



● 暑中見舞いハガキ作り。折り紙やスタンプで彩り、日頃言えないメッセージも書いたりしました。



● 昼食にはサムラの松花堂弁当をご用意しました。

中堅職員研修参加

当事業部では職員が様々な研修を受講し、福祉専門職としての資質向上に努めています。今回は組織における中堅職員としての自覚を高め、福祉専門職として更なる資質向上を図るべく、第1部、第2部研修で構成される「平成27年度児童・障害者（児）福祉施設等中堅職員研修」に参加してきました。



■ 研修を受けて ■

■ 私は第1部研修を受講しました。業務を行う上で重要である情報伝達の1つである記録の書き方、対人援助職のストレスマネジメントについて講義を受けました。ストレスマネジメントの講義で、考え方の幅を広げることで自身の狭まった考え、思考の転換を図り、ストレスを軽減させ溜め込まない方法の1つとして認知療法について学びました。認知療法とは心の健康を回復するために主に医療機関や相談機関などで行われる心理療法です。知識をすぐに実践に持ち込むことは難しいですが、対人援助という仕事上必要であるストレスマネジメントを今後の業務に活かしていくよう努めたいと思います。

ヴィラふなき 河添 香奈美

■ 私は第2部研修を受講し、日本女子大学の久田教授より「福祉専門職として“人財”となるための実践力」を学びました。今回は新人でもなく、管理職でもない、実際現場で実践力として稼働している方が多く受講されていました。研修を受け、通常業務から「もう一步先の仕事」が出来る為には自分の事業所や自分を含む職員がどのような状況で、どんな課題があるのかを再度見直し自覚することで、利用者支援・作業支援などすべてにおいて危機意識を持って対応出来る“人財”となることが出来るのだと思いました。

サムラ 浅谷 友香

東行庵を散策♪



6月25日に生活支援センターの日中一時支援で下関市の東行庵へ行って来ました。

東行庵は古くからあるお寺で幕末の志士高杉晋作の墓地や奇兵隊の駐屯地跡、高杉晋作をはじめ、山縣有朋、司馬遼太郎など幕末から近代にかけてたくさんの有名人の句碑があつたりするなど、歴史が好きな方には特にお勧めの場所です。

ピクニックで訪れた時には、菖蒲の花は終わっていましたが、鯉や鮎にエサをあげたり東行記念館を見たり幕末の歴史に触れながら皆さん梅雨のひとときを楽しんでいました。



● 高杉晋作の銅像の前で、当時の活躍の説明を読まれています。



● 広い園内。少し離れてシャッターをパシャリ♪



● 川や池もあり、自然を満喫されました。

赤い羽根共同募金「一口後見人プロジェクト」

赤い羽根寄付つき自動販売機設置

社会福祉法人扶老会では、この度赤い羽根共同募金「一口後見人プロジェクト」の趣旨に賛同し、赤い羽根寄付つき自動販売機を「サムラ」玄関前に設置しました。

「一口後見人プロジェクト」とは、認知症や知的障害、精神障害等により判断能力が十分でない方々が安心して地域で暮らせる仕組みとしての「成年後見制度」をより身近で使いやすくするための財源づくりを目指す取り組みで、宇部市内の有志がプロジェクト実行委員会を組織し、その活動の輪を広げられています。その活動の一環として、赤い羽根寄付つき自動販売機設置の取り組みがあり、自販機の売上の一部が自動的に共同募金会に寄付される仕組みで、「一口後見人プロジェクト」の財源に充てられます。

7月8日には設置式が行われ、山口県共同募金会宇部支会の福田幸三支会長、赤い羽根共同募金「一口後見人プロジェクト」の有田信二郎実行委員長、コカ・コーラウエスト株式会社中国営業本部ベンディング市場開発一課の藤嶋利光課長、楠地区社会福祉協議会の笠井泰孝会長にお越し頂きました。

今回設置された自販機は、コカ・コーラウエスト社さんのご協力により、世界で1台の扶老会オリジナルデザインになっています。皆さまからもご好評を頂き、売り上げも好調の様です。この自販機は“自動販売機の形をした募金箱”です。多くの皆さまの善意が、認知症の高齢者、障害者の皆さまに届くことを期待しています。皆さま、「一口後見人プロジェクト」の素敵なお取り組みを応援して下さい。コーラを飲んで社会貢献を！



● 自販機設置に携わりました関係者一同。



夏季限定メニュー あんみつ

サムラでは夏限定の商品として、7月より【あんみつ】を提供しております。抹茶アイス、白玉、かんてん、フルーツなど彩り鮮やかに盛り込んでいます。また、セットの黒蜜をかけていただく事により、甘さをお好みで変える事も出来ます。

価格は税込み300円となっておりますので、ぜひ一度、夏の涼を求めてサムラへ食べにいらっしゃいませんか？



次長の主張 ジチヨーのシュチヨー

1歳の子供がスマホを起用に使いこなしている姿を見て、以前、あるテレビ番組で小学生に黒電話を与えて、どうやって使うかを観察する、といった企画を放送していた事を思い出しました。一番多かったのがダイヤルの穴に指を入れて番号を押す、というやり方でした。私たちの世代では何の躊躇いもなくダイヤルを回すところが、正しい使い方が出来た子供はわずか一人でした。それも偶然だったのです。

ダイヤル式の電話からブッシュホーン、携帯電話、スマートフォンとここ半世紀の通信機器の進化は目を見張るものがあると思います。私の育児中はブッシュホーンの玩具でしたが、今は玩具もスマホの時代です。未だガラケーを使用している私にすれば、1歳児がスマホで遊んでいる姿を見た時は衝撃でした。ちゃんと使い方を理解した上で遊んでいたのですから。この子に黒電話を与えたらどう扱うのか、実際に見てみたくなりました。きっと番組に出ていた子供達のように、子供ならではの豊かな発想で「未知の物体」を分析するのだろうと・・・。1歳児と競うつもりは毛頭ありませんが、私もそろそろ時代の流れに乗ってみようかと思っています。

ハイツふなき・ヴィラふなき次長 土田 美由紀

仕事中によく人からストレス発散はですかと聞かれることが多く、あまり考えずに庭の草取りですとよく答えます。年配の人から毎日草取りを30分していたら庭の手入れは苦労しないよと言われるので朝15分・夕方15分を目標に草取りに励んでいます。子供の成長とともに家族サービスの時間が増えてきたら難しいかもしれません、公私ともに人間関係の疲れを草取りに達成感を求めて気持ちを落ち着かせるようにしています。

相談支援で関わらせていただいて担当の方が65歳の誕生日を迎えた際は介護保険の担当者に引き継ぎを行ったり、長期入院されたりなどで関わりが中断することもありますが、長い方であれば数十年にわたり関わりが続くので、相談の担当者はなかなか達成感を得られにくくモチベーションも時として低下しがちかなと感じます。

縁を頂いて何らかの相談支援事業で関わらせていただく方たちの貴重なご意見に耳を傾けながら、これからも前向きに仕事に取り組んでいこうと思います。

生活支援センターふなき次長 牧 憲一郎

先日、「メンタルタフネス研修」に参加させていただき、非常に心惹かれる言葉がありました。それは「人は楽しいから笑うのではなく、笑うから楽しくなる。」という言葉です。この研修はストレスに関する研修で「笑い」の効果としてリラックス効果・血圧を下げる・鎮痛効果などがあげられており、医学的にも病気の予防や治療において注目されているそうです。私もずっと「笑い」は大事だと思っていましたし、「笑顔」を大切にしてきました。人間には喜怒哀楽がありますので、常に「笑顔」ではいることは難しいと思います。私も自分自身がしんどいときや腹が立っているときには「笑顔」になるのは難しいです。今回の研修で一つ言われたことは人を褒めるということで、人間は人を褒めるときには「笑顔」になるそうです。確かにしかめっ面や怒った顔で褒める人はいないと思います。これからは私も苦しいときこそ人を褒めて、「笑顔」を振りまき、楽しくなりたいと思います。

サムラ次長 小松 毅史

CHECK!



〒757-0216 山口県宇部市大字船木 833
社会福祉法人 扶老会 障害福祉サービス事業部



- | | | |
|-------------------|---------------|-----------------------|
| ● ハイツふなき | (0836)67-0188 | 自立訓練・宿泊型自立訓練・就労継続支援B型 |
| ● ヴィラふなき | (0836)67-1883 | グループホーム（介護サービス包括型） |
| ● 生活支援センターふなき | (0836)67-2464 | 相談支援・日中一時支援 |
| ● サムラ(レストラン・パン工房) | (0836)67-0171 | 就労移行支援・就労継続支援B型 |

扶老会

検索

ホームページ

<http://www.furoukai.jp/>

ブログ <http://www.furoukai.jp/cms/heightsfunaki/>